

メンテナンス ブレーキフルード 取替

警告/注意/参照

参考:

ブレーキフルードの取替方法は、GTS使用時およびGTS不使用時の2種類がある。

手順

■ 1.取り扱い・作業上の注意

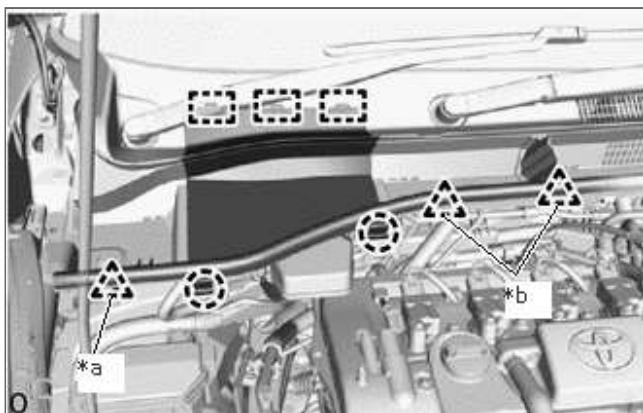
注意:

- ブレーキフルード取替はシフトポジションPおよびパーキングブレーキを効かせた状態で行う。
- ブレーキフルード取替作業中はブレーキフルードをブレーキマスターシリンダリザーバASSYのMIN-MAXレベルの間を保つよう補充しながら行う。
- ブレーキアクチュエータホースNo.2(ブレーキブースタポンプASSY-ブレーキマスターシリンダリザーバASSY間ホース)取り付けポートよりブレーキフルード液面を低下させ、ホース内にエアが混入すると、ブレーキフルード取替作業中のポンプモータ駆動によりブレーキブースタポンプASSY内にエアがかみ込み、エア抜き困難となる。
- ブレーキフルード取替実施中にアキュムレータ圧低下によりブザーが作動する場合があるが、異常ではないので作業はそのまま続ける。
- ブレーキフルード取替作業により、モータ駆動許可異常やAcc低圧異常などのダイアグノーシスコードが記憶されることがある。ブレーキフルード取替完了後および手順中に指示がある場合は、ダイアグノーシスコードを消去する。
- ブレーキフルードを塗装面に付着させない。付着した場合は素早く除去する。
- ブレーキフルード取替の際、ポンプモータ保護のため連続駆動は100秒以内で行い、ブレーキペダルを解放してポンプモータ駆動をいったん停止させる。
- アキュムレータからのブレーキフルードリリースによりブレーキフルードがあふれることがあるため、ブレーキフルード缶はリザーバ注入口に立てない。

■ 2.カウルトップベンチレータ ルーバ CTR NO.1取りはずし

55783B

a.



*a	フック
*b	クリップ

フックおよびクリップ2箇所のかん合をはずし、フードトゥーカウルトップシールをカウルトップベンチレータルーバSUB-ASSYから切り離す。

- b. ツメ2箇所のかん合およびガイド3箇所をはずし、カウルトップベンチレータルーバCTR No.1をカウルトップベンチレータルーバSUB-ASSYから取り外す。